



都政に新しい風を！女性の声は新しく強い力 ドゥマンジュ恭子の提案

■新型コロナ

感染防止と「生活不安」への対応を急げ！

●PCR検査の促進と保健所の機能強化を！●災害避難所のコロナ感染防止対策を徹底する●外出自粛で高まる虐待・DVリスクに対応する●学生への就学支援、社会的弱者への居住支援と給付型所得保障を●NPOも感染拡大防止協力金の対象に！

■子どもの「いま」を大切に

東京都子どもの権利条例をつくる

●虐待をなくす！子どもの声をきく相談体制をつくる●保育所の質と量を確保する●プレーパークに子ども食堂！子どもの居場所をどんどんふやす●障がいがあっても共に学び育つインクルーシブ教育へ●家庭の経済格差に影響されない子どもの学びと育ちを保障する●都独自の給付型奨学金の充実で若者に希望を！

■東京からジェンダー平等を達成する

国際都市にふさわしい多文化共生を前へ！

●職場・地域・家庭で男女平等を実現し、誰もが輝ける東京に●セクハラ・DV・性暴力をなくし、女性が自分らしく生きられる社会を●LGBTQへの理解を深め当事者が暮らしやすい社会をつくる●女性議員を増やし都議会をパリティに！あらゆる意思決定の場で女性比率3割を実現！

■災害に負けない「調布・狛江」へ

生活基盤を強くする！災害対策は市民参加で

●水害を想定した避難所設置や雨水対策を！●生活圏を活

かした災害対応ができる広域連携を東京都のリードでつくる●備蓄対策や避難所運営に女性の視点を活かす！●防災計画に避難所での感染症防止対策を！

■食の安全を確保する

食べることは生きること、都民の食を守る

●東京都食品安全条例の活用で安全な食材を食卓へ！●学校・保育所給食への地場野菜導入で、食の安全と都市農業を守る●遺伝子組み換え・ゲノム編集などの食品表示を徹底し、消費者の選ぶ権利を保障する

■人権を大事にする福祉優先社会へ

セーフティネットが機能するまちを実現する

●仕事や子育て・介護の両立をたすけるケアラー支援を進める●在宅医療と訪問介護・看護の充実で高齢者に安心な暮らしを●障がいのある人の移動の権利を保障するバリアフリーのまちへ

■環境優先！多摩のみどりを守る

再エネ・省エネで脱原発！温暖化を防止する

●再生可能エネルギーの拡大でエネルギー自立都市東京へ●建造物のZEB化*を進めエネルギー創出と省エネを進める●市民電力を応援しエネルギーの地産地消を促進

■東京に「カジノ」はいらない！

文化芸術の力で人をつなぐTOKYOへ

※ZEB=ネット・ゼロ・エネルギービル：省エネと再生可能エネルギーによる創エネで、エネルギーを概ね自給自足できる建築物

ドゥマンジュ恭子さんを応援します

中川李枝子 児童文学作家



ドゥマンジュ恭子さんは、普通の日常を通して真剣に考え、懸命に学び、地道に行動する、まさに生活者ネットワークの実力ある一員です。東京都民一老・若・子ども一人一人の命の安全と安心、全世界の平和を守るといふ大きなお役目に最もふさわしい女性であると私は信頼と期待をこめて応援します。

杉田 敦 法政大学教授



都政に新しい風を。長引く不況に加えてパンデミックの蔓延などにより、都民は苦しい生活を強いられています。こうした中で、生活に根ざし、生活の中に政治の課題を見つける生活者ネットワークの力が求められています。

佐藤かおり 女性と人権全国ネットワーク共同代表

NPO法人情報公開クリアリングハウス

山田 真 八王子中央診療所 小児科医

中央学院大学教授・元狛江市長

福嶋浩彦 ジャーナリスト

視覚障害者・元参議院議員

山内れい子 東京・生活者ネットワーク都議会議員

元調布市議会議員

安倍たかね 元調布市議会議員

元狛江市議会議員

池座俊子 元狛江市議会議員

前調布市議会議員

二宮ようこ 前狛江市議会議員

調布市議会議員

木下やすこ 狛江市議会議員

調布市議会議員

●東京を安心・共生・自治のまちに。東京・生活者ネットワーク都政担当政策委員 ドゥマンジュ恭子の活動を紹介します。



東京・生活者ネットワーク 都政担当政策委員
元調布市議会議員

ドゥマンジュ 恭子

きょうこ



ドゥマンジュ恭子 わくわく会議レポート

No.3 2020年5月10日

■発行 ドゥマンジュ恭子とわくわく会議／

調布・生活者ネットワーク／狛江・生活者ネットワーク

■発行責任者 八木昭子 〒182-0022

東京都調布市国領町 8-1-13 TEL・FAX 042-487-3087

E-mail waku2seikatasha@mpd.biglobe.ne.jp

URL <https://doumenge.seikatsusha.me/>

<https://doumenge.seikatsusha.me/>



ドゥマンジュ恭子 profile

■1957函館市生まれ。北海道立函館西高校卒業■93～95狛江市公民館講座「女の暮らしと教育」から自主グループを立ち上げ、活動■95調布市に転居。食の

安全、環境保全を求めて生活クラブ生協で活動■97「ワーカース・コレクティブ クイーンズ」に参加、安全で信頼の食を提供。後に理事■99～2004小・中学校PTA役員■07～15調布市議会議員2期。総務委員会、調布飛行場等対策特別委員会など■07～15

東京・生活者ネットワーク子ども部会(09～12 部長)■16～東京・生活者ネットワーク政策委員■子育てネットワークkonokono、野川流域連絡会、若者の再出発を支えるネットなどで活動 ●整体師、健康管理士●家族：夫(フランス人 在日34年)、娘、息子 調布市在住

●7月5日は東京都議会議員補欠選挙の投票日です(期日前投票は6月27日～7月4日)。

新型コロナ 感染防止と医・食・住の支援拡充を

か かりつけ医と病院との連携で医療崩壊を止める！

医 師・看護師など医療従事者への労災補償・心理的ケアを！

重 症化リスクの高い高齢者の命を守る！

P CR検査の促進と保健所の機能強化・職員体制の充実を！

多摩地域では、感染者数が低く、PCR検査数が少ないためではないかと指摘されています。不安を抱える市民にPCR検査を実施できる体制を、医師会の協力のもと自治体ごとに設置、提供すべきです。無症状・軽症者用のホテルもようやく多摩地域でも確保されましたが、対策の遅れは否めません。

感染症が発生した時に最も重要となるのが保健所ですが、その保健所が今危機に瀕しています。特に多摩地域でその数を減らし保健師も職員体制も縮小され続けてきました。生活者ネットワークは、ウイルスの大敵はヒトの免疫力である事実に基づき、地域保健や公衆衛生を司る保健所の機能強化を求めます。



風 水害・災害時避難所のコロナ感染防止対策を徹底する

災害時の避難所でも新型コロナウイルス感染症対策が必須です。災害時に設置される避難所は、公共施設や学校の体育館などに詰め込まれるケースがほとんどであり、感染防止は絶望的です。避難者が相互に距離が取れ、換気が考慮されなければならず、保健師などの常駐も求められます。梅雨や台風シーズンは待たなし！浸水被害対応とともに、東京都のガイドラインや自治体の災害避難計画に感染症防止策を盛り込むことが必要です。

コ ロナ禍が深刻化する今だからこそ大切な子どもの権利

低 所得世帯・ひとり親家庭への現金給付、仕事を失った人への給付型所得保障を徹底する

生 活困窮に直面する学生への就学支援を急げ！

外 出自肅でリスクが高まる虐待・DVを見逃さない

突然の全国学校休校要請から始まった感染症対策——デンマークとノルウェーの、ともに女性首相は新型コロナウイルス感染症や国の対策について、子どもを対象にした異例のスピーチを行い、子どもの不安に向き合い、説明し、理解を求めたといえます。

危機の時だからこそ子どもへの配慮が欠かせません。子どもの居場所、健康はもちろん、長引く在宅によるストレスなどからDV、子どもへの虐待が増加傾向にあります。民間支援団体が事業を継続できるよう、財政支援やホテルを借り上げてシェルターを確保するなどの支援を行うべきです。給食がないことによる要支援家庭の子どもへの影響も深刻です。学校給食を利用して弁当を配るよう自治体に協力要請し、都は財政支援を行うときです。

ネ ットカフェ難民、ホームレスなど社会的弱者の居住を支援する

N PO法人も感染拡大防止協力金の対象に！

新型コロナコールセンター ☎ 0570-550571

外国人新型コロナ生活相談センター：TOCOS
☎ 0120-296-004

「虐待」かな、と思ったら
☎ 189 (イチハヤク)

子どものための相談窓口
(月～金 9時～21時 / 土日・祝日 9時～17時)
☎ 0120-874-374

妊娠相談ほっとライン
☎ 03-5339-1133

DV・女性相談 (東京都女性相談センター)
(月～金 9時～20時) (夜間・休日)
☎ 03-5261-3110 ☎ 03-5261-3911

東京ウィメンズプラザ
☎ 03-5467-2455

内閣府 DV 相談 + (プラス)
☎ 0120-279-889

住む家に困ったら (TOKYO チャレンジネット)
☎ 0120-874-225

みんなの人権 110 番
☎ 0570-003-110

居住支援 就学支援、給付型所得保障で 「命」と「生活」を守れ！

新型コロナウイルス感染症の拡大が続くなか、市民生活への影響が日々深刻化しています。生活者ネットワークは、都議会での質問や3月4日に発出した「新型コロナウイルスから高齢者の命を守る緊急要望」を初回に、刻々と変化する状況の下、都知事に要望や申し入れを行ってきました。一人ひとりの「命」と「生活不安」に向き合い、誰をも取りこぼさない対応が東京都や自治体行政に求められています。国の支援策が遅々としているなか、医療や救急(消防)など現場を持つ東京都は、対策に苦慮している地域の声を聞きながら現場に即した施策を機動的に実施する必要があります。

ドゥマンジュ恭子



生活者ネットワークは実現しました ●子ども食堂や誰もが集えるインクルーシブな地域の居場所づくり●福祉避難所への看護師などの人的支援●農地の買い取り予算計上●性犯罪被害者への24時間対応支援●犯罪被害者支援条例成立●人権条例(SOGI、ヘイトスピーチ)成立●子どもの虐待防止条例成立●トイレの洋式化、女子トイレ・だれでもトイレの増設●2050年CO₂実質ゼロのゼロエミッション東京戦略策定(気候危機行動宣言)、都庁版RE100 ●都の会議でのペットボトル禁止●マイボトル推奨と水飲み栓設置●ブロック塀の生け垣化への補助●障がい者差別解消条例成立●液体ミルクの防災備蓄



都議会には、 もっと女性の議席が必要です

●東京・生活者ネットワークは、東京都知事選挙にともない7月5日に行われる都議会議員補欠選挙 [調布市・狛江市] にむけて、ドゥマンジュ恭子(新人)の擁立を決定しました。
●左から、生活者ネットワークの、木下やすこ調布市議会議員、ドゥマンジュ恭子都政担当政策委員、山内れい子東京都議会議員、まつざき淑子狛江市議会議員。2020年3月19日

- 生活者ネットワークの
- 1 議員報酬は市民の政治活動資金に
生活者ネットワークの活動は、市民のカンパで支えられています。議員報酬は市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。
 - 2 議員は交代制(ローテーション)
議席は市民のもの。多選を防ぎ、多様な市民、とりわけ女性の、政策決定の場への直接参加を進めます。
 - 3 選挙はカンパとボランティアで
みんなのカンパ(お金)とボランティア(知恵と労力)で、選挙をたたかいます。

みなさまのカンパを募集しています。
ドゥマンジュ恭子とわくわく会議 三菱UFJ銀行調布支店 普 1918985